

山口県感染症発生週報

(第10週:平成28年3月7日～3月13日)

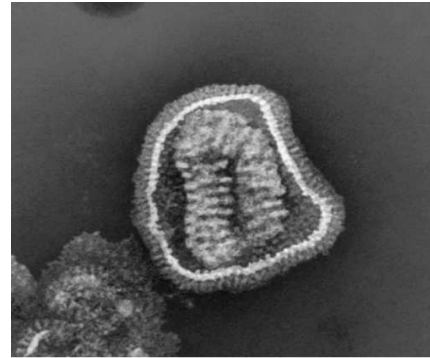
1 全数把握感染症

【2類感染症】

- ・結核: 第9週追加 1例(周南)。
第10週 2例(柳井1、山口1)。

【5類感染症】

- ・クロイツフェルト・ヤコブ病: 1例(宇部)。



インフルエンザウイルス
CDC / Dr. E. L. Palmer; Dr. M. L. Martin

2 定点把握感染症(5類感染症)

(1)特記事項

- ・インフルエンザ: 多くの地域で横ばい・減少傾向ですが、ほとんどの地域で警報レベルが続いています。迅速診断検査結果は、A型 544例、B型 1480例、A型B型ともに陽性 3例で、212例は臨床診断・型不明でした。全ての地域でA型よりもB型の方が多くなっています。[警報レベル:防府(5週目)、山口(5週目)、岩国(6週目)、下関(6週目)、周南(7週目)、長門(3週目)、萩(4週目)、柳井(7週目)。注意報レベル:宇部(8週目)]※
- ・伝染性紅斑: 長門で増加し警報レベルとなりました。萩でも警報レベルが続いています。[警報レベル:長門(1週目)、萩(19週目)]※

※警報レベル・注意報レベルの基準値詳細についてはHPをご覧ください。
<http://kanpokken.pref.yamaguchi.lg.jp/jyoho/report2012/keihotyuuho.php>

(2)週別発生状況

疾患名	8週	9週	10週	疾患名	8週	9週	10週
インフルエンザ	3276	3096	2239	百日咳	2	1	1
RSウイルス感染症	39	47	43	ヘルパンギーナ	0	1	0
咽頭結膜熱	14	22	17	流行性耳下腺炎	35	28	40
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	210	170	130	急性出血性結膜炎	0	0	0
感染性胃腸炎	362	412	369	流行性角結膜炎	5	4	0
水痘	12	11	14	クラミジア肺炎	0	0	0
手足口病	0	1	0	細菌性髄膜炎	0	0	0
伝染性紅斑	32	32	31	マイコプラズマ肺炎	3	6	4
突発性発しん	24	20	20	無菌性髄膜炎	0	0	0
				感染性胃腸炎(ロタウイルス)	8	2	3

(3)地域別発生状況

疾患名	下関	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	長門	萩	全体
インフルエンザ	513	306	62	394	264	309	232	98	61	2239
RSウイルス感染症	26	0	0	12	0	2	3	0	0	43
咽頭結膜熱	1	1	0	10	4	0	0	0	1	17
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	21	7	8	14	3	57	12	2	6	130
感染性胃腸炎	49	41	40	104	19	48	42	10	16	369
水痘	6	2	0	0	1	1	4	0	0	14
手足口病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伝染性紅斑	3	2	1	1	4	8	5	5	2	31
突発性発しん	6	0	0	4	1	5	2	0	2	20
百日咳	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性耳下腺炎	24	6	1	7	1	1	0	0	0	40
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	0	1	1	2	0	0	0	0	0	4
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	1	2	0	0	0	0	3